



SNAプロジェクトが目指すもの



特別なニーズがある人・家族が
笑顔で安心して
地域で暮らせる社会

作りたい環境！
地域で見守る（孤立しない）

そのための
「つながり」をつくる

充実させたい！
様々なニーズに対応できる居場所

増やしたい繋がり！
安心できる人・環境



不安...

- ・ 親なき後の住まい
- ・ 将来の生活
- ・ 成年後見制度
- ・ 金銭管理
- ・ 障害者の方との関り方
- ・ 障害者雇用について

困った...

- ・ 相談場所がない
- ・ 利用できるサービスが不明
- ・ 成長に伴う今後の不透明さ
- ・ 1人で苦しい
- ・ 一緒に考えたい
- ・ 相談窓口が不明

どうすればいいかわからない...

- ・ 強度行動障害の方の受入れ先がない
- ・ ニーズにあったサービスがない
- ・ 理想の地域の実現方法
- ・ 他職種との連携
- ・ スタッフの人材育成・スキルアップ

このような課題を解決するしくみを作りを手伝うのがSNAプロジェクトの活動です！



勉強会の実施



スタッフ研修の実施

動画コンテンツの閲覧

親なき後を考える

まなぶ

専門家に相談できる

同じ想いを話せる

つながる

相談する

つくる

プロジェクトに参加・企画



地域の方への発信

事業所のコンサルティング



SNAプロジェクトのメンバーになり、一緒に活動しませんか？

会員登録により、活動に賛同いただける、同じ想いを持ったメンバーが集まります。

スムーズな情報提供につなげるため、会員の皆様の情報をしくみねっとで一括管理しています。
また、専門家（スペシャルアシスター）への謝礼や活動費のために、会費を集めています。

会員登録をすると・・・（裏面へ）

しくみねっとの会員

相談支援事業所だからできる、幅広いネットワークを活かして皆様を繋ぎます！



対象	こんなことができます！	会員名
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の方・ご本人 ・法人とは関係なく個人的に入会したい方 	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことは何でも相談できる！ ・知的障害児の親なき後問題の専門家がサポート！ ・同じ想いや困りごと、悩みを持つ人と繋がれる！ ・知りたい情報がいつでもコンテンツで見れる！ ・参加できなかったイベントも視聴可能！ ・自分がしたいイベント、勉強会、プロジェクトが作れる！ ・作ったイベントやプロジェクトはSNAがお手伝いします。 ・福祉経験豊富なスタッフと共に考え、学べる 	個人メンバー 無料
法人全体で入りたい方	<ul style="list-style-type: none"> ・上記にプラスして ・職員全員がどの勉強会にでも参加できる！ ・スタッフ研修・虐待防止研修に会員価格で講師を派遣！ ・開所、立ち上げのお手伝い ・他の事業所、他分野の方と繋がれる！ ・単独事業所で相談する人がいない。。。 ・引き継ぎ先を探すけど見つからない。。。 ・スタッフのスキルアップのために、事例検討会がしたい ・など・・・事業所で困ったことへの相談に応じます！ 	法人（代表）メンバー 年間 36,000円
上記法人に所属されている 職員の皆様		法人（個人）メンバー 無料
福祉関連法人 地域の一般企業・店舗の皆様	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺の裏に企業やお店の紹介を乗せます！ （200枚を作成し、私たちが訪問先で配布します！） ・障害者雇用のご提案・ご紹介ができます！ ・福祉のことをいつでも相談できる！ 	個人メンバー 無料 or 法人メンバー 年間36,000円

勉強会・イベントの紹介

会員の方ならどれでも、いくつでも参加できます！



イベント名	内容	活動内容
KYOUKOU	強度行動障害勉強会	強度行動障害の方の支援について、色んな角度から学びます。施設見学も実施しています。
hand to hand	親なき後を考える会	障害を持つ家族の知っておくこと、するべきことを講師を招いたり、テーマに沿ってざっくばらんに話します。
グローアップ学習会	放課後等ディサービス勉強会	放デイを始めた福祉、教育、医療等の連携について学び、子どもの無限の可能性を引き出すための勉強会です。
ほっこり会	障害を持つお子さんの保護者の方のコミュニケーションの場	障害を持つお子さんの保護者の方が、創作等を楽しみながらほっこりできる場所です。
相談支援勉強会	相談支援の質を高める勉強会	相談支援において、連携する社会資源等の知識を得るとともに連携のための方策を学ぶ勉強会です。

地域の社会課題を解決するには、「福祉サービス事業所」「ご家族の」「地域」それぞれのニーズに対応できる人材を育成することが必要です。そのために、これからも様々な勉強会をまだまだ増やして行きます。また、他の勉強会とコラボレーションするなど、学びが広がっていく企画を計画しています。

